

寿命区 寿命公園清掃

きれいな公園を保つため 寿命区の住民が清掃活動



寿命区の住民による寿命公園の清掃活動が行われ、20人の住民が参加しました。5月中に咲いたツツジの花木の剪定のほか、広場の除草や歩道の清掃活動に精力的に取り組みました。

寿命区では、地域ボランティア「寿命区的环境を良くする会」による清掃活動のほか、年に3回、寿命区全体に呼びかけての清掃活動を行っています。

5/24日



▲活動を行った寿命区の方々。

3校PTAスポーツ親善大会

1球の玉の行方に手に汗握る アジャタ競技が白熱



3校PTAスポーツ親善大会が桂川中学校体育館で行われました。今年も毎年恒例の「アジャタ」競技が行われ、小学校、東小学校、中学校、役場、教育委員会、議会、商工会、JA、区長会がチームとして参加し、桂川中学校チームが優勝しました。

アジャタとは玉入れを公式競技としたもので、計100個をかごに入れるまでの時間を競います。

6/13日



▲優勝した桂川中学校チーム。アジャタは大人から子どもまで楽しめるニュースポーツで、団体でのレクリエーションにも最適です。【問合せ】総合体育館 ☎65・5145

けいせんびと

～話題の人・団体～



寿命区的环境を良くする会

寿命公園は、桜、ツツジ、アジサイ、モミジなど、四季折々の景色が楽しめる公園です。ウォーキングにも最適で、遊具も多いことから子どもたちもよく遊びに来ています。

*

「寿命区的环境を良くする会（通称・寿命環境会）」は、寿命区域内の自然や文化的な環境の整備を行う地域ボランティア団体。年間を通して活動を行っており、特に力を注いでいる寿命公園（町立・桂川町大字寿命六〇四ノ一）の整備について、同会代表の高橋孝則さんに話を聞いた。

「寿命区的环境を良くする会」による寿命公園整備
地域ボランティアの手によって
多くの人に愛される公園へ

「寿命区的环境を良くする会（通称・寿命環境会）」は、寿命区域内の自然や文化的な環境の整備を行う地域ボランティア団体。年間を通して活動を行っており、特に力を注いでいる寿命公園（町立・桂川町大字寿命六〇四ノ一）の整備について、同会代表の高橋孝則さんに話を聞いた。

ら、家庭では子どもたちに『寿命公園で遊ばないよう』という指導がなされた時期もありました。そんな状況を改善するために、平成14年に発足した同会は、現在、43人の会員が活動しています（5月末現在）。会では、年に数回の10人前後による環境整備のほか、ごみ・落ち葉・トイレの清掃や樹木の剪定、遊具の点検などの活動が日常的に行われています。会でできない作業は町に依頼をしていますが、なかなか捗らないものも少しもあります。

また、近隣の老人クラブによる清掃も実施されており、地域の人々の手によって、現在の寿命公園はごみ一つ落ちていないほどきれいに整備されています。

寿命公園は、王塚古墳からもほど近く、自然豊かな公園です。ぜひ立ち寄ってみてください。